

# 2023年3月期 第1四半期 決算概要

2022年8月9日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証プライム)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

## ■ 2023年3月期 1Q 決算概要

## 2023年3月期 第1四半期 決算ハイライト

全地域で増収を達成するも、原材料・資源価格高騰の影響大

売上	連結	連結売上高は、前年同期比110.3%、9億円増の102億円。
	日本	前年同期比101.2%の35億円。 低調な自動車関連を精密機器関連がカバー。
	中国	前年同期比113.9%の55億円。 自動車関連で好調を維持。
	東南アジア	前年同期比119.6%の4億円。 シンガポール、タイ、マレーシアが好調を維持。
	欧米他	前年同期比128.9%の7億円。 医療関連が好調を維持。
利益	営業利益は、前年同期比88.6%の705百万円 経常利益は、前年同期比91.7%の698百万円 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比81.3%の427百万円	
ネット資金	運転資金増加により、期首から515百万円減少。	

### ■ 2023年3月期 1Qの決算ハイライト

- 前期に引き続き、中国が業績に大きく貢献し、全地域で増収を達成したが、売上増と連動した販売費及び一般管理費の上昇のほか、製品への価格転嫁を上回る仕入れコストの上昇による原価率悪化等の影響、為替変動による海外子会社の採算悪化等が利益面に影響大

- ネット資金は、5億15百万円の減少

## 損益計算書サマリー(1Q比較)

(単位:百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		前年同期差	前年同期比
売上高	9,278		10,234		955	110.3%
営業利益	8.6%	796	6.9%	705	▲90	88.6%
経常利益	8.2%	761	6.8%	698	▲63	91.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5.7%	526	4.2%	427	▲98	81.3%

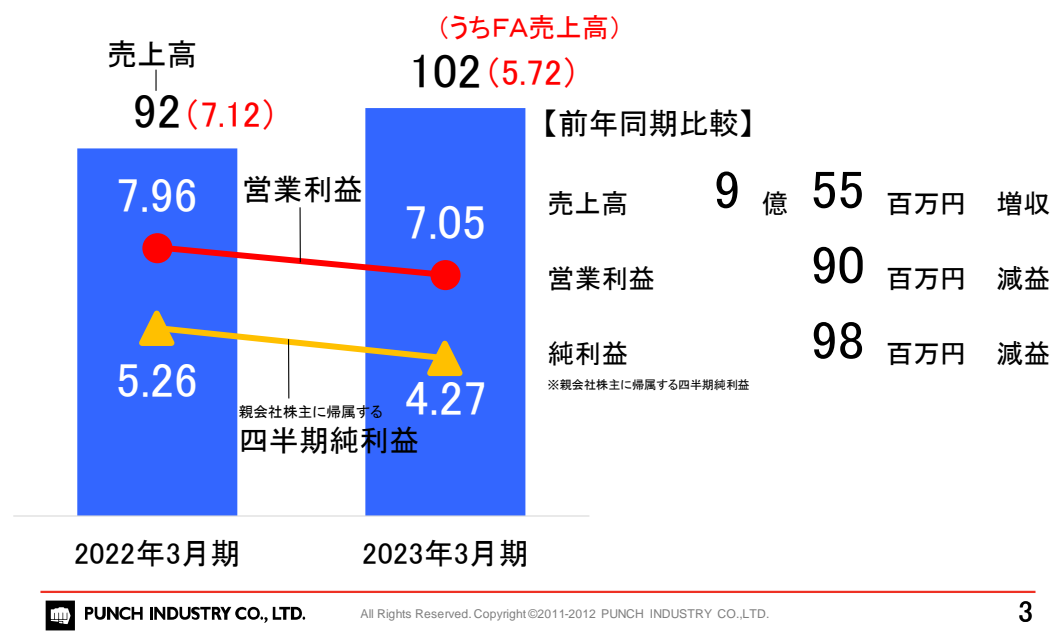
### ■ 損益計算書サマリー

■ 売上高は102億34百万円で、前期比110.3%、9億55百万円の増収

■ 営業利益は7億5百万円、経常利益は6億98百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億27百万円

## 売上高と利益(1Q比較)

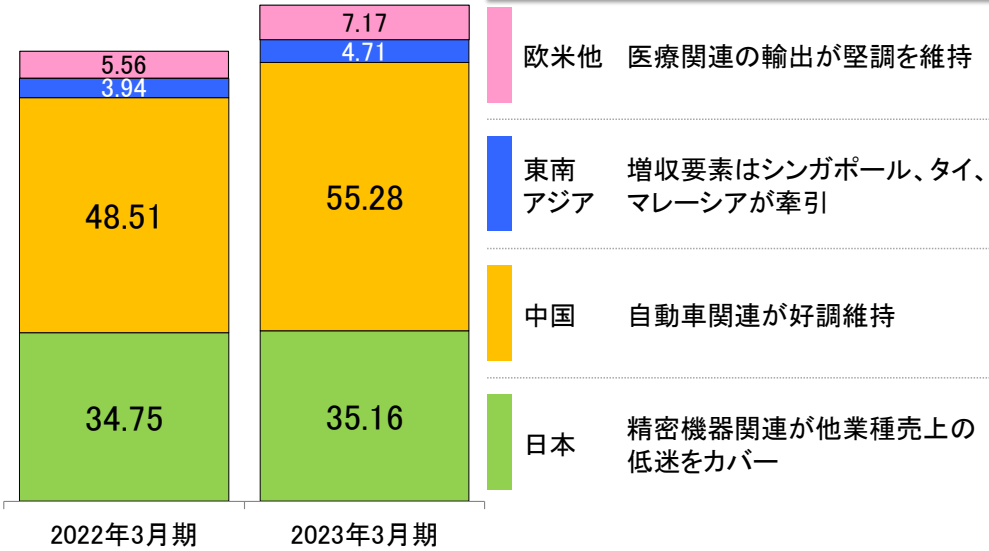
(単位:億円)



- 2022年3月期と2023年3月期の売上・利益比較(1Q)
- 増収は達成したものの、当初織り込んだ、仕入れコストの上昇による原価率悪化等の影響が想定を上回っており、現在進めている製品への価格転嫁を上回るコストもあり、減益
- FA売上は前年特需の反動もあり低調
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 地域別売上高(1Q比較)

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

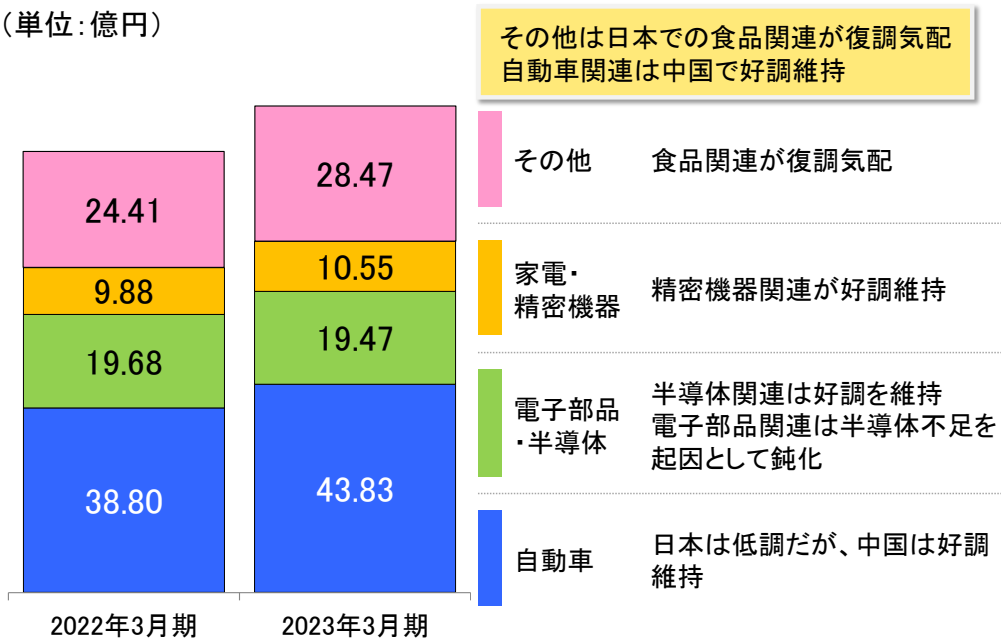
All Rights Reserved. Copyright©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

4

- 地域別の売上高
- 全地域において増収を達成し、中でも中国が好調を維持
- 日本は復調の気配は見せているが、コロナ禍前までは回復しきれていない状況
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 業種別売上高(1Q比較)

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

5

### ■ 業種別の売上高

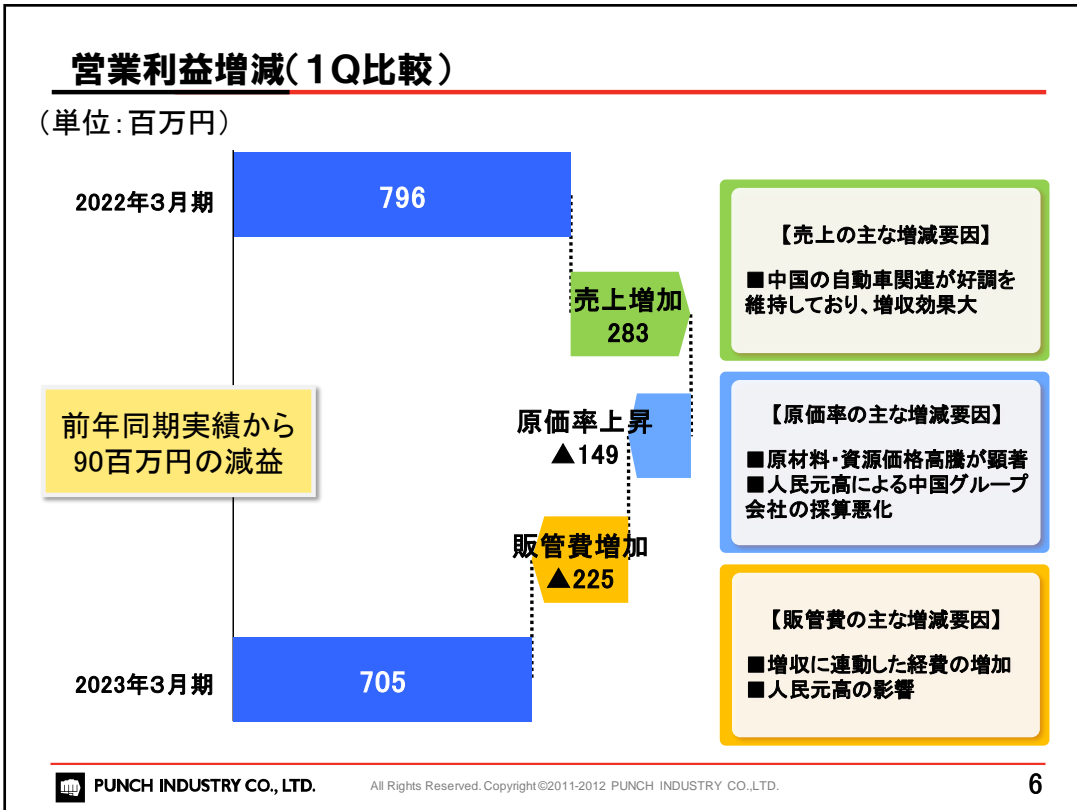
■ 自動車関連は、日本では低調だが、中国では好調を維持

■ 電子部品・半導体関連は半導体関連が好調をキープしているものの、半導体不足等による電子部品が鈍化している状況

■ 家電・精密機器関連は精密機器関連が好調を維持

■ その他は食品関連が復調気配

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載



■ 営業利益の増減分析

- 前年同期の営業利益実績7億96百万円に対して、売上増による利益増加が2億83百万円

原材料・資源価格高騰や人民元高による中国グループ会社の採算悪化等により、原価率が上昇し、1億49百万円減少

販管費は増収に連動した経費の増加や人民元高が影響し、2億25百万円減少

- 結果、2023年3月期 1Qの営業利益は、前年同期から90百万円の減益となり7億5百万円を計上

## 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2022年3月期末	2023年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	28,774	29,748	974
総負債	12,466	12,031	▲435
うち有利子負債	3,820	3,915	94
純資産	16,307	17,717	1,410
ネット資金	995	480	▲515
自己資本比率	56.5%	59.4%	2.9pt

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	239	271	32
減価償却費(無形固定資産含む)	236	277	40



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

7

- 貸借対照表サマリー
- 総資産は、9億74百万円の増加
- 総負債は、4億35百万円の減少
- 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、前期末と比較して14億10百万円の増加
- 上記の結果から自己資本比率は前期末から2.9ポイント上昇し、59.4%
- 設備投資額は、前年同期から32百万円増加の2億71百万円
- 期初計画では、設備投資16億円、減価償却費10億円を見込んでいたが、2Q累計期間及び通期の業績予想修正に伴い、  
設備投資を約15億円、減価償却費を約10億円の見込みに修正



## 2023年3月期 第2四半期累計期間の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期 (実績)		2023年3月期 第2四半期連結累計期間					
			前回予想 (2022/5/13公表)		修正予想		前年同期差 (前年同期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	19,523		21,500		21,700		2,176 (111.1%)	200 (100.9%)
営業利益	9.1%	1,768	7.7%	1,660	7.1%	1,530	▲239 (86.5%)	▲130 (92.2%)
経常利益	8.9%	1,736	7.6%	1,640	7.0%	1,520	▲216 (87.6%)	▲120 (92.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6.4%	1,258	5.0%	1,070	3.9%	850	▲408 (67.6%)	▲220 (79.4%)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

8

- 最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日公表の2023年3月期 2Q累計期間における連結業績予想を修正
- 修正理由は、地政学リスクの増大や急激な円安による為替相場の変動など、先行きの不透明感が増し、厳しい経営状況が依然として続いており、特に利益面で原材料・資源価格高騰が顕著となっている点

## 2023年3月期 通期の業績予想を修正

親会社株主に帰属する当期純利益の減少は、追加減損40百万円を織り込む

(単位:百万円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 連結累計期間			
		前回予想 (2022/5/13公表)		修正予想	前期差 (前期比)
売上高	39,358	43,500	44,300	4,941 (112.6%)	800 (101.8%)
営業利益	7.7% 3,041	7.6% 3,300	7.0% 3,100	58 (101.9%)	▲200 (93.9%)
経常利益	7.6% 3,007	7.5% 3,270	6.9% 3,070	62 (102.1%)	▲200 (93.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	5.2% 2,040	4.8% 2,100	4.2% 1,850	▲191 (90.7%)	▲250 (88.1%)
自己資本利益率 (ROE)	14.2%	12.2%	10.3%	▲3.9pt	▲1.9pt
2023年3月期 配当予想		13円 = 中間 6.50円(予定) + 期末 6.50円(予定)			

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

9

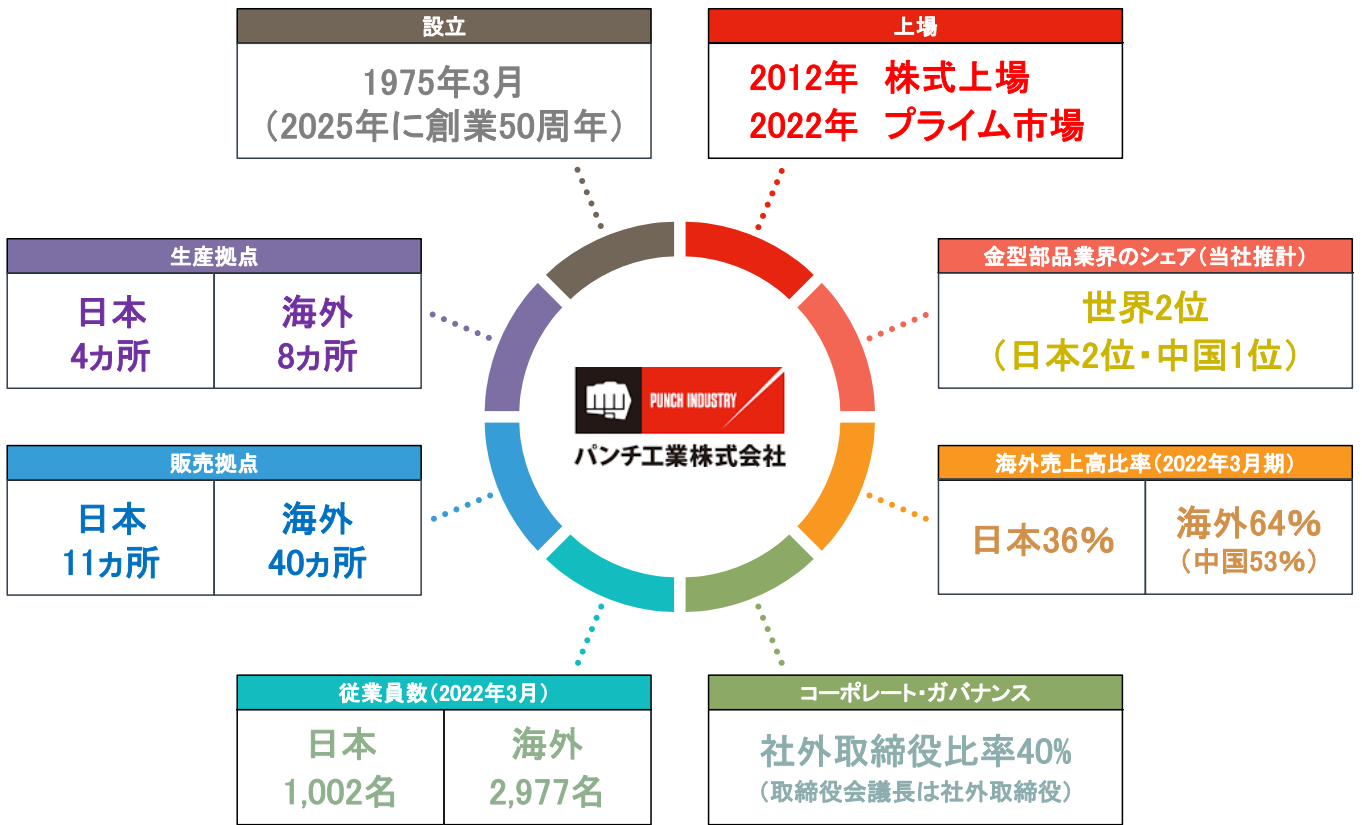
### ■ 通期の業績予想修正

- 売上面では想定為替レートの変更によりさらなる上振れが予想され、上場来最高売上を更新する見込み
- 利益面では、当初織り込んだ、仕入れコストの上昇による原価率悪化等の影響が想定を上回っており、第3四半期以降は価格改定による利益改善を図り、前期実績に対しては増益を維持するものの、前回公表予想に対しては未達となる見込み  
加えて、当社において減損損失の増加が見込まれることから、通期連結業績予想を修正
- 2Q以降の想定為替レート  
前回予想では1人民元=18.50円  
今回予想では1人民元=19.00円
- なお、配当予想においては修正なし



- 各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。
  
- 中期経営計画
  - [http://www.punch.co.jp/ir/med\\_management.html](http://www.punch.co.jp/ir/med_management.html)
  
- 決算短信
  - <http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>
  
- 決算説明資料
  - <http://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>
  
- IRニュース一覧
  - <http://www.punch.co.jp/ir/2022/>

# ひと目でわかるパンチグループ



## マネジメント体制

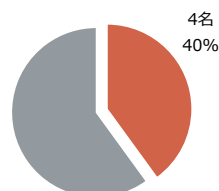
### 代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

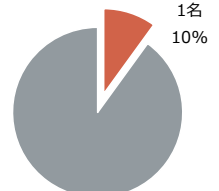
### 取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役常務執行役員 最高執行責任者(COO/営業)	真田 保弘
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO/製造)	高梨 晃
	取締役	杉田 進
	社外取締役 取締役会議長	高辻 成彦
取締役(監査等委員)	社外取締役	大里 真理子
	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	松江 頼篤
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄

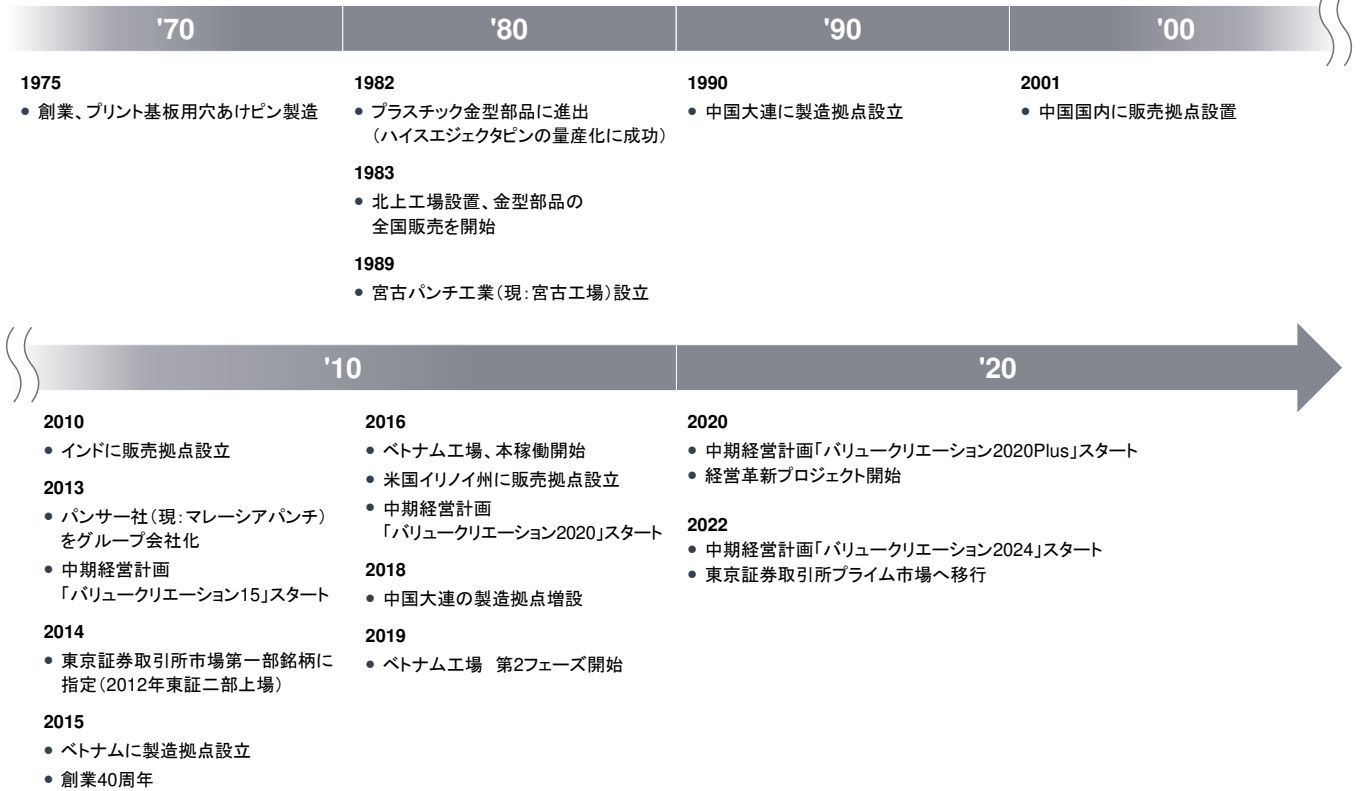
社外取締役比率



女性取締役比率

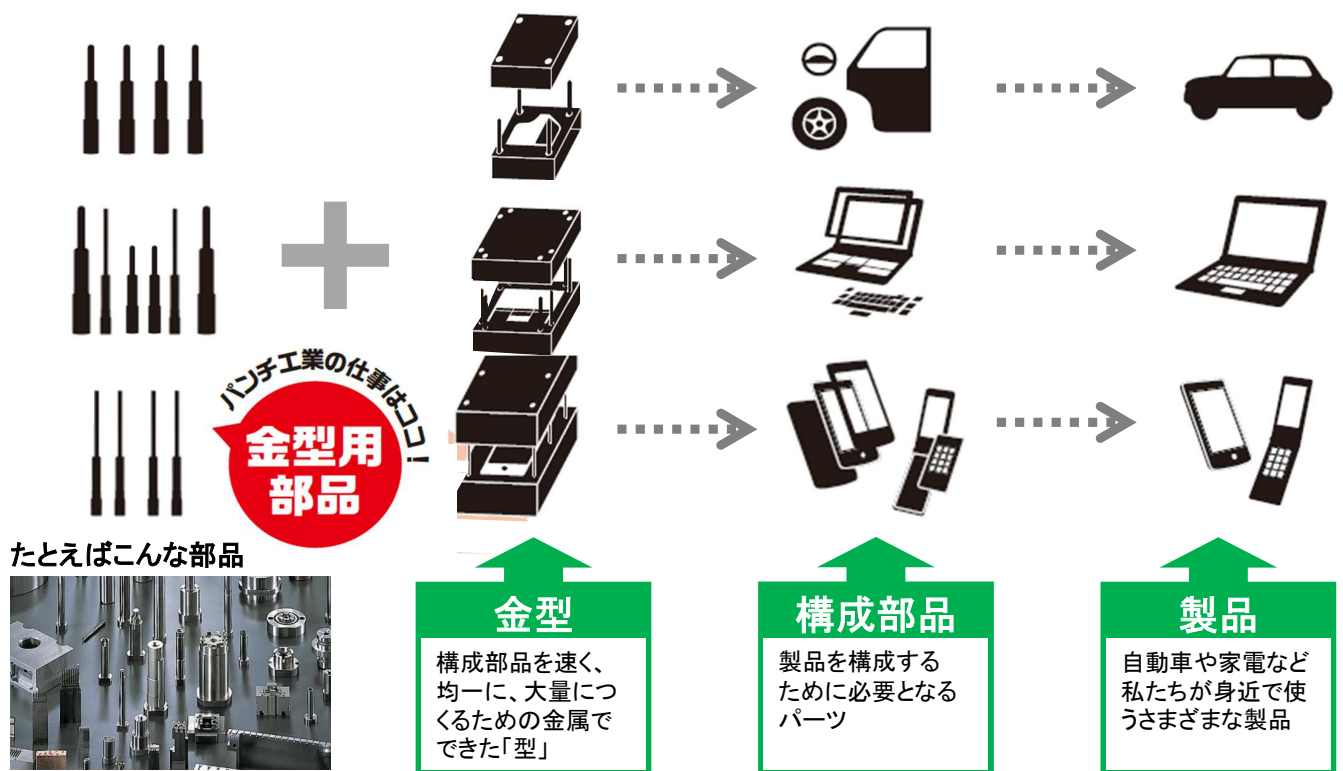


# パンチグループ沿革



## 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売  
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



# パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品のものづくりの上流から下流までお取引

## プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶解したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



### 主要な製品

#### エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品(押し出しピン)です。



### 主要な製品

#### コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

## プレス金型部品

プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができ上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



### 主要な製品

#### パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



### 主要な製品

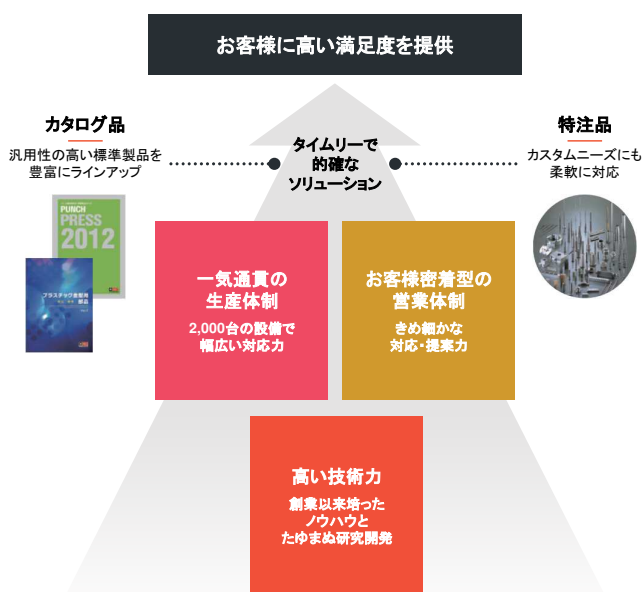
#### ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。

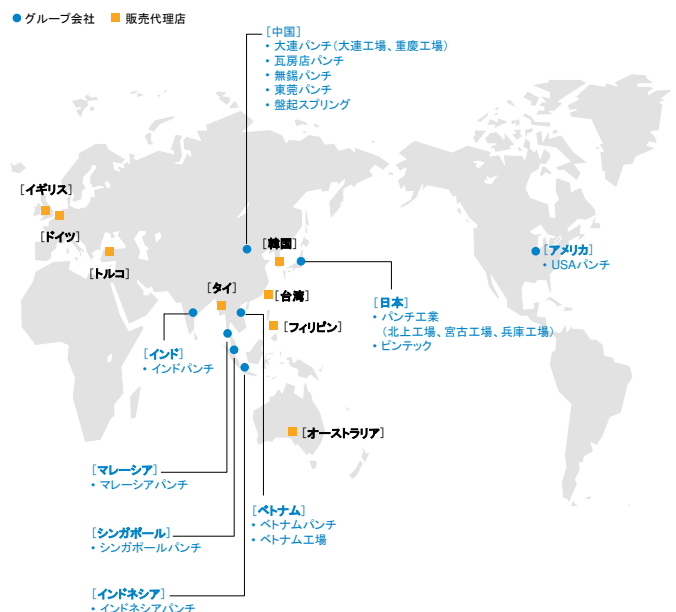
# パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品 世界の「ものづくり」を支える

## パンチグループの強み

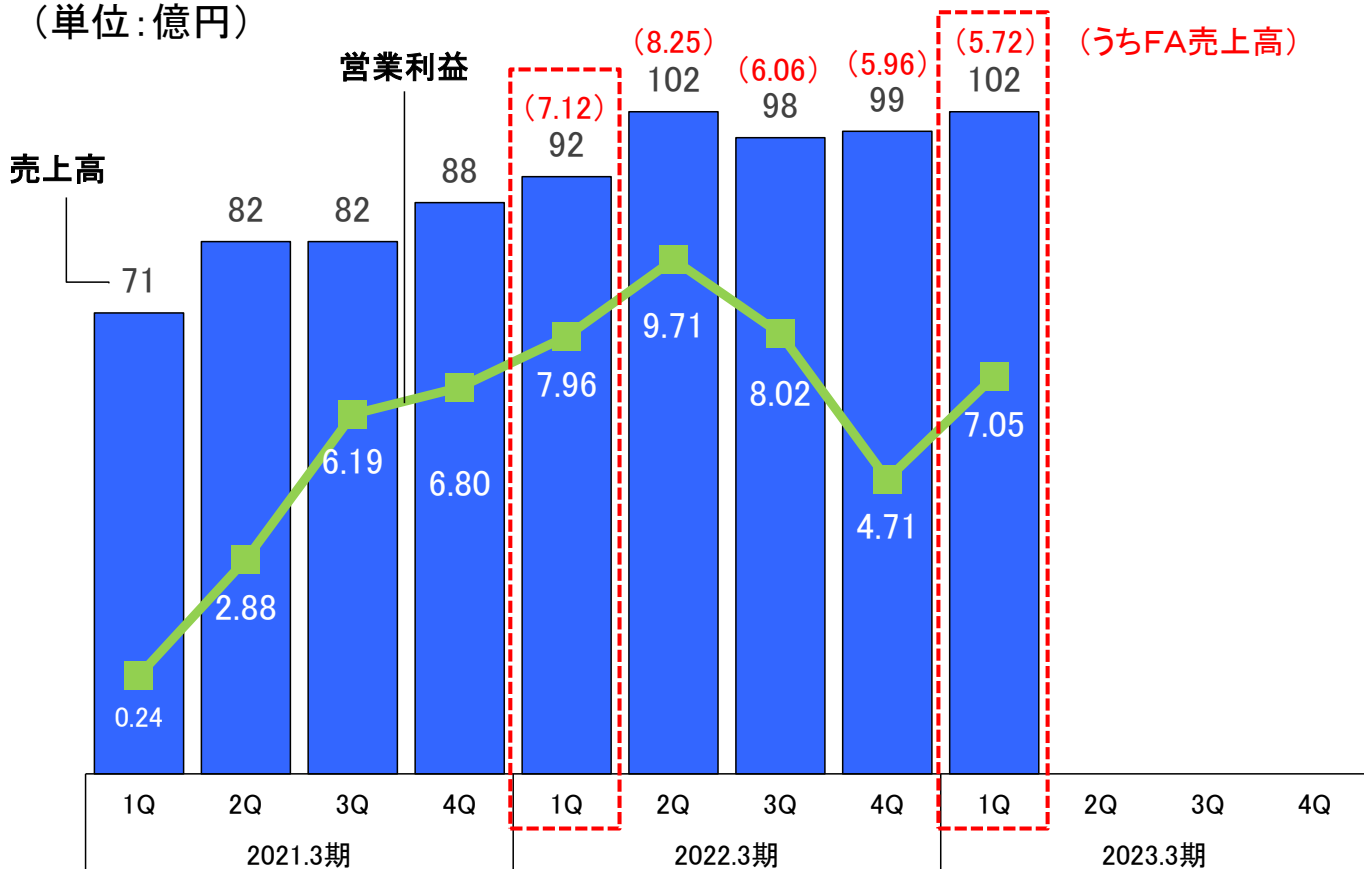


## パンチグループのネットワーク



# 売上高と営業利益の推移

(単位:億円)



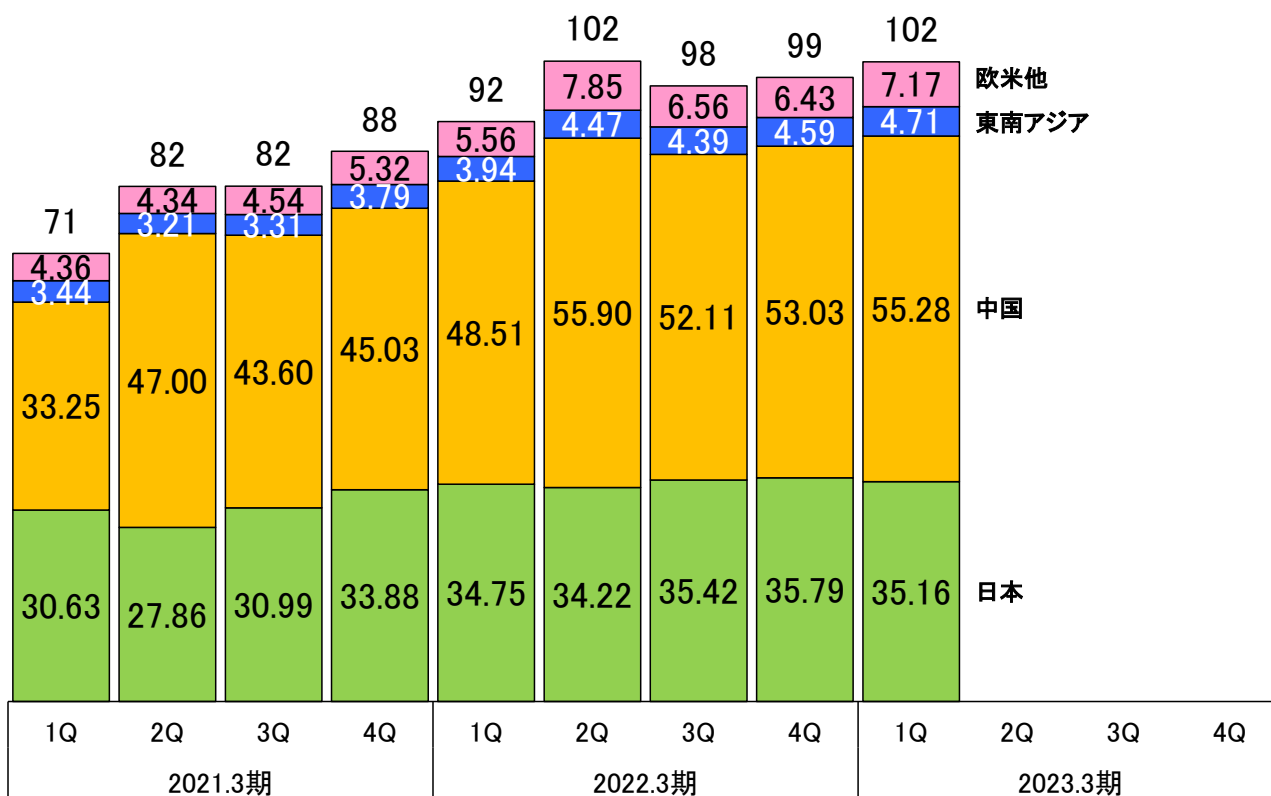
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

17

# 地域別売上高

(単位:億円)



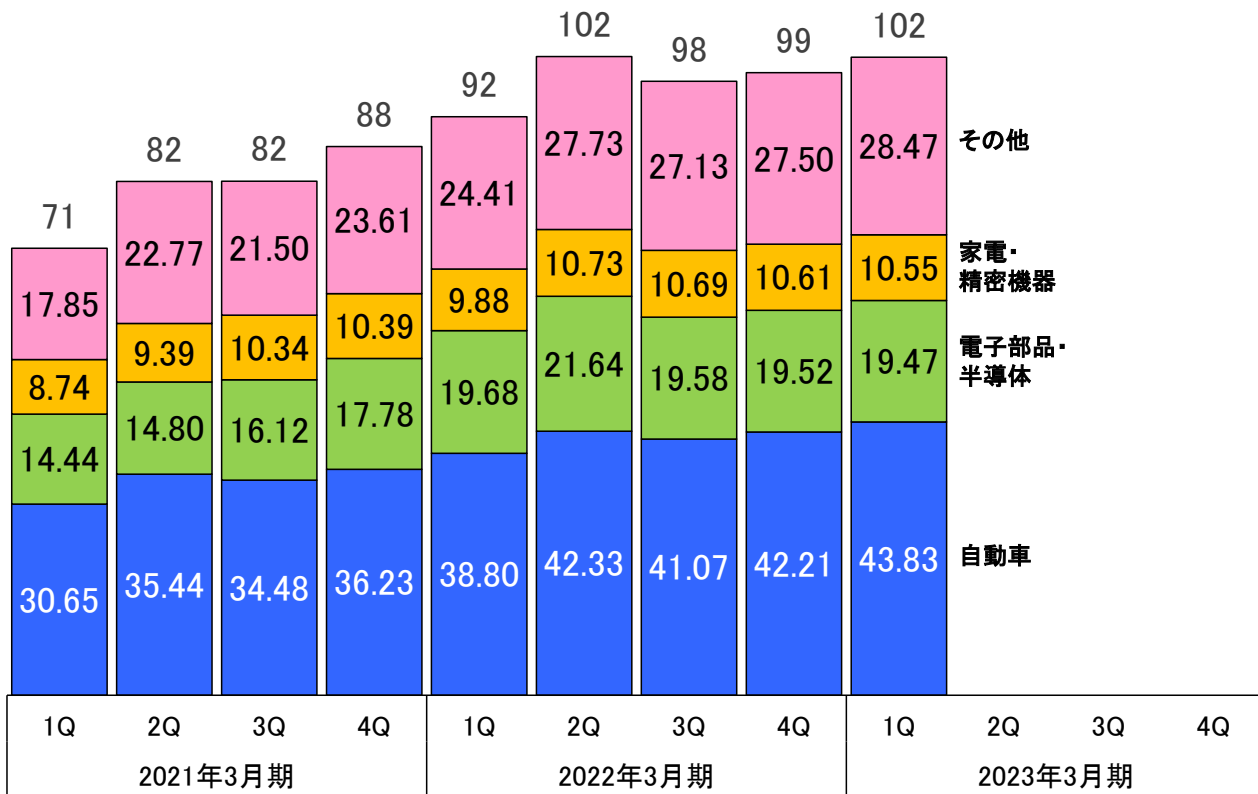
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

18

# 業種別売上高

(単位:億円)

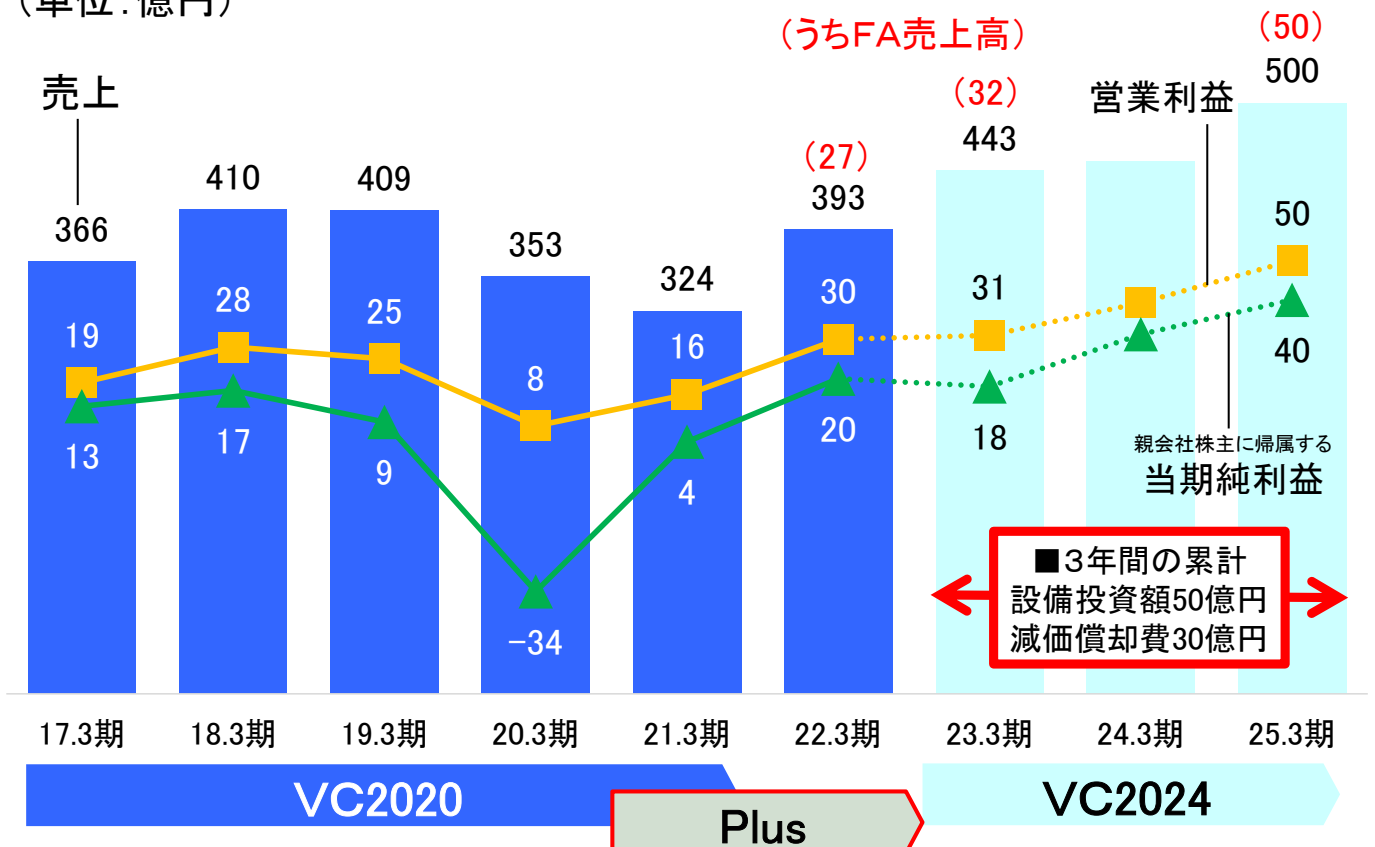


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

# 中期経営計画「VC2024」の経営数値目標

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

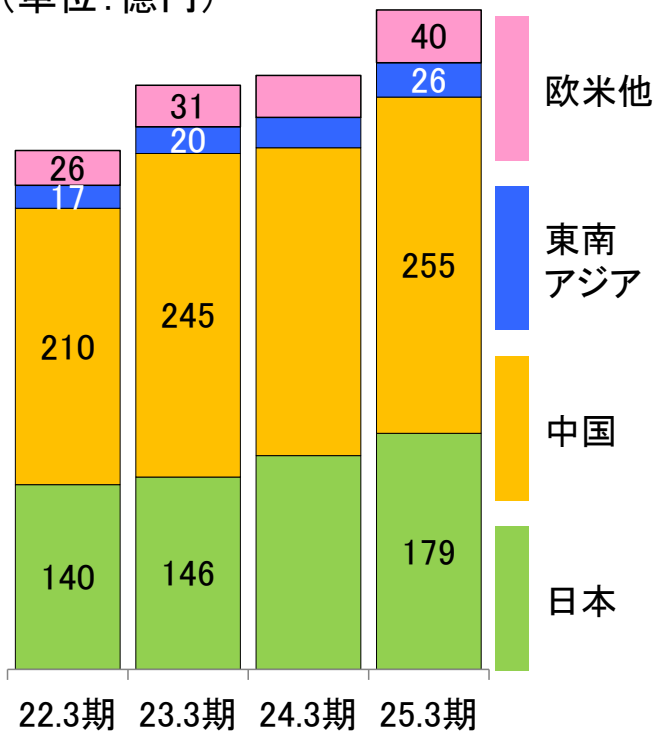
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.



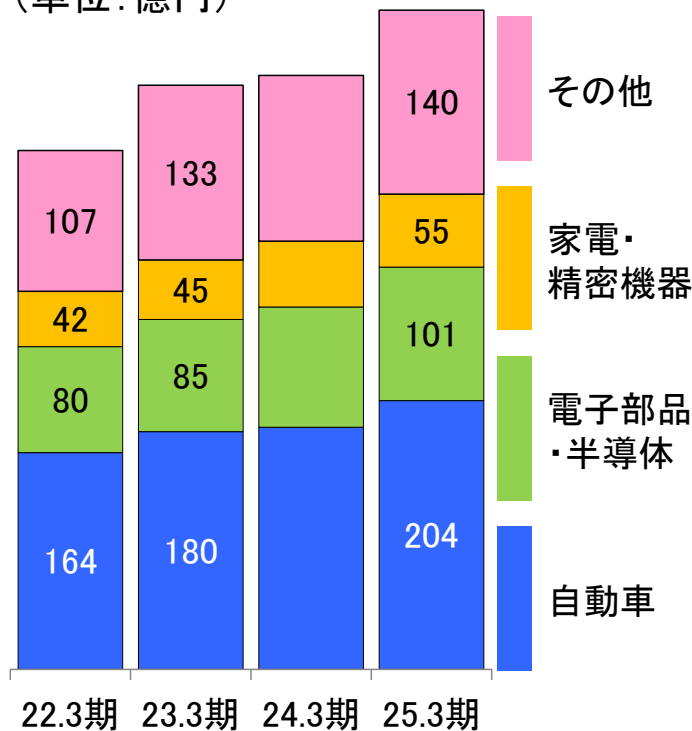
# VC2024の地域別・業種別売上の数値目標

「VC2024」は、2022～2024年度（2023年3月期～2025年3月期）

(単位:億円)



(単位:億円)



## 流通株式時価総額の増大に向けて

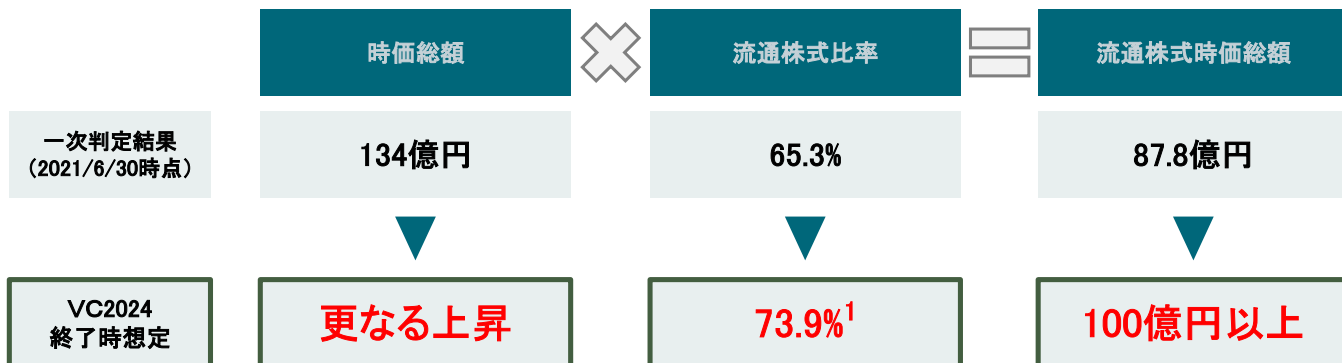
企業価値向上のための施策を通じた株価・時価総額上昇を通じ、プライム市場の上場維持基準である流通株式時価総額100億円の達成・及び更なる上昇を目指す

### 流通株式時価総額上昇に向けた課題

企業価値向上施策を通じた株価上昇  
 ROIC経営による「稼ぐ力」の強化  
 成長投資と安定配当を最適バランスで実施

### 課題解決に向けた基本方針

成長に向けた設備投資の実施  
 DX推進での業績向上と働き方改革  
 新技術・新製品の持続的な開発



1. 第三者割当による行使価額修正条項付第4回新株予約権の発行にて2,500,000株の新株を発行し、その全てが流通株式に該当したと仮定



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

**【将来見通し等に関する注意事項】**

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。